

## 株式会社TOKAIケーブルネットワーク 2022年度番組審議会 議事録

開催日時 2022年12月15日(木) 11時00分～13時00分

場所 グランディエールブケトーカイ 4階 ワルツ

出席者 <審議委員> 下記審議委員7名中6名出席  
大坪 檀 様 審議会会長(静岡産業大学総合研究所 所長)  
曾根原 容子様(沼津市) ご欠席  
渡邊 英正 様(三島市)  
勝間田 誠 様(御殿場市)  
青木 洋一 様(富士市)  
古谷 光子 様(焼津市)  
井上 幸代 様(藤枝市) 6名

<TOKAI ケーブルネットワーク>

代表取締役社長 鈴木 光速

代表取締役専務 近藤 雄二

放送企画部部长 望月 隆宏

放送制作部部长 澤井 宏幸

- 次第
1. 開会挨拶 (代表取締役社長 鈴木 光速)
  2. 議事
    - 1)2022年度コミュニティチャンネルの取組み
    - 2)審議番組視聴、審議
      - 「地域ト密着番組 ダムダムおじさんお宝探索隊」
      - トコチャンワイドコーナー「やっぱり住むならこんな Yeah！」
  3. 閉会挨拶 (代表取締役専務 近藤 雄二)

開会挨拶：TOKAI ケーブルネットワーク 鈴木社長

TOKAIグループとして「静岡を元気に」というプロジェクトに6年ほど前から取り組んでいる。ケーブルテレビ業界全体でも「2030 ケーブルビジョン」を掲げ、従来のまま安住せず、変化へ向けた取り組みのひとつとして「地域DX」や「デジタル化への対応」がキーワードとなっている。

本日は、番組審議を通じて「地域が元気になる」ことへ繋がるようなご意見・ご助言・ご相談、などいただければと思う。

審議番組：「地域ド密着番組 ダムダムおじさんお宝探索隊」28分視聴

トコチャンワイドコーナー「やっぱり住むならこんな Yeah！」8分視聴

番組概要：

【地域ド密着番組 ダムダムおじさんお宝探索隊】

ダムダムおじさんとロザリオクロス永井萌子が、ある特定の地域に長期間密着し、地域の方と一緒に街を盛り上げていく番組。2020年9月から10か月間「沼津仲見世商店街」に、2021年7月から1年3ヶ月間「三島大通り商店街」に、2022年10月から「吉原商店街」に密着・連携している。

【トコチャンワイド】

地域密着の話題をお届けする情報ニュース番組。地域に密着した地元の話題を放送している。平日月曜日～金曜日の12時より、月曜、水曜、金曜はメディアプラザ沼津から、火曜、木曜はメディアプラザ藤枝から生放送。当社エリア内の行政主催、民間主催イベント等の「地域ニュース」を中心に、スポーツ情報、店舗情報、イベント情報などの地域情報コーナーを織り交ぜている。

【やっぱり住むならこんな Yeah！】

2022年1月からスタートした、トコチャンワイド内毎月1・3金第曜日コーナー。

エリア内の地元工務店やハウスメーカーに協力を依頼し、特色のある新築物件や展示場（モデルハウ）などを紹介するコーナー。最新の技術を採用した住宅や、長年培ってきた職人技が光る住宅など、様々な住宅を紹介。ご自宅で住宅見学しているような気分になっていたいただけるよう住宅の魅力は勿論、各工務店の空気もお届けできるように意識して制作。

番組審議委員の意見

（三島市 渡邊委員）

- ・「ダムダムおじさん お宝探索隊」を見てロケ地の商店街へ行ってみたくなった。
- ・どこの地域でも課題になっているが、シャッターが閉まっている店舗が気になる。
- ・コロナのためマスクで口元の動きが見えず、言葉が聞きとりにくい。

（御殿場市 勝間田委員）

- ・「ダムダムおじさん お宝探索隊」は、魅力的な番組であり、御殿場市には密着先に当てはまるような地区がないのが残念。
- ・話をしている時の、マスクが気になる。マスクのない番組も他局ではあるので、マスク無しでの撮影も検討してほしい。
- ・映像に関して、前方や、少し高い位置からのアングルがあると良い。現在はカメラ1台で

撮影をしているが、加えて手元から小型のカメラで撮影するのも1つの方法だと思う。

- ・「やっぱり住むならこんな Yeah！」は、非常にいい企画だと思う。
- ・建物全体の映像が映った時に、真ん中から上にかけて細くなる撮影はやめた方が、視聴者にとって見やすい。

(富士市 青木委員)

- ・今回の「ダムダムおじさん お宝探索隊」の舞台が富士市であったので、自分は楽しく見たが、他の地域の方々が見て面白いのか不安になった。個人的には他の地域も見てみたいと思った。
- ・番組尺の関係はあると思うが、チラシを渡すだけで映像が終わっている店舗についてはもう少し深掘してあげてほしかった。
- ・撮影している地点が分かる商店街の地図を入れた方が良い。
- ・かりんとうを試食するシーンで、慌ててマスクをつけるくらいであれば、外してもいいのではないか。また、出演者は3人だが、2人くらいであれば屋外ではマスクを外してもいいと思う。
- ・自分が家を建てる前に「やっぱり住むならこんな Yeah！」を知っていたら、参考になる仕上がりだった。

(焼津市 古谷委員)

- ・「ダムダムおじさん お宝探索隊」は、とても良い。過去回と比べて、非常にブラッシュアップされている。
- ・出演者の二村氏は、商店街のいい部分を引き出すのが非常に上手で好感が持てる。
- ・吉原商店街に行ったことはないが、金物店の若旦那による商店街の導入から入り、商店街の変遷に関する話などが勉強になった。もっと詳細を聞きたい。
- ・女性出演者の、髪の毛とマスクをいじる仕草が多く気になった。プロの出演者として気を使ってほしい。一方、「やっぱり住むならこんな Yeah！」の女性リポーターは顔まわりに手がいらず、プロ根性を感じた。

(藤枝市 井上委員)

- ・「ダムダムおじさん お宝探索隊」は、出演者のマスクが気になってしまう。マスクを着用していると声が聞き取りにくいので、テロップを入れてほしい。表情が分かるように、マスクを外せる場所では外してもいいのではないか。
- ・歴史の部分（東海道五十三次）を教えてもらえて良かった。
- ・それぞれのお店の情報が分かりやすかった。シャッターが閉まっていたお店については、テロップで定休日など店舗情報を入れてほしい。
- ・地図を所々で入れて、今どこを歩いているのかが分かるようにすると良い。

- ・ダムダムおじさんの二村氏は、視聴者が商店街に来たくなるようなコメントをしているのが好印象。

(総評 審議会会長 大坪会長)

- ・「ダムダムおじさん お宝探索隊」は、「誰が見るのか」「何のために見るのか」が分かりづらい。町おこしがテーマであるならもっと違う作り方もあるのではないか
- ・出演者3人のトークではなく、もっと町の人たちにスポットをあて、3人は引き立て役となった方が良い。地域の方が参加して、一緒に盛り上げなければ、地域は盛り上がらない。せっかくケーブルテレビでこのようなテーマを取り扱うのであれば、地域の人が元気よく自ら自慢するような仕掛けを番組内に盛り込んだらどうか。
- ・シャッター通りの問題は他人事ではない。隠すのでなく、シャッター通りを暗くみせないよう、商店街と協力して明るい背景づくりをする。撮影する側・される側の両方がシャッターを無くしていく仕組みを考えるべき。

閉会挨拶：TOKAI ケーブルネットワーク 近藤専務

放送本部では「考えながら仕事をする」よう日頃から意識付けしている。大坪会長が仰った、「この番組は誰が見るのか」というご指摘には、はっとさせられた。まさに普段から向き合っているテーマであり、これを念頭に番組作りを行っている。

今後も継続して皆様からのご意見を頂戴し番組制作に反映し、皆に見てもらえる・愛されるコミュニティチャンネルとなるよう取り組みたいと考える。

以上